

“Where in the World is Japanese Pop Culture Heading to?”

「グローバル化する日本ポップカルチャーの行方」

2025

10/21 火

16:30 ▶ 17:30

※参加費無料

会場

成城大学7号館3階 732 教室

* 講演は英語で行われます。

参加方法

講演会参加をご希望の方は10/19(日) までに
右の事前申請フォームよりお申込みください。

<https://forms.gle/2rNcyzEYZF6CKMza7>



講師：Renato Rivera Rusca (レナト・リベラ・ルスカ)

ペルー生まれ、イギリス育ち、東京在住。2003年にスコットランドのスターリング大学で日本研究専攻を卒業し、大阪大学と京都大学大学院で日本のサブカルチャーと社会に関する研究実践やドキュメンタリー制作を博士課程で行った。京都国際マンガミュージアムの発足当初から数多くのポップカルチャー関連プロジェクトに参加。地域活性化事業の一環としてアニメーションの国際共同製作企画に携わった後、現在は成城大学国際センターを含む様々な大学で大衆文化や社会におけるメディアの役割などについて複数の科目を担当している。



◆ 講演内容について

昨今、マンガやアニメをはじめとする日本のクリエイティブコンテンツ産業が年々これまでにない成長傾向を見せて、海外市場における記録的な売り上げを示し、日本のイメージをかつての製造業大国から膨大なポップカルチャーの代表国へと切り替えた。しかし「Made in Japan」という全世界に通用するブランドの不可欠な柱である「アニメ業界」は、国外における需要が国内のそれを上回る事実を受け、そのニーズに合わせて現在どのように変容しているか。また、それが今後、どのような展開を迎えるのだろうか。ローカライゼーション（翻訳や編集を含む外国へ発信する際に現地の文化や規制などに合わせるために行う処理）手法の変化、コンテンツの消費媒体の進化（放映から再生メディア、さらにネット配信）、そしてそれに伴う制作現場の人材問題の事情など、複数の観点からこの実態を分析する。最後に、今話題になっているAI技術の採用によって業界がどのような方向に進もうとしているのかを考察する。